

震災対策の強化へ

県西部地震研究施設を視察

川 奈 神 党
神 奈 川 県 議 団

公明党神奈川県議団「地学研究所」を視察し
(鈴木秀志団長)は25日、神奈川県小田原市にある「神奈川県温泉



温泉地学研究所の地震観測室を視察する
党神奈川県議団のメンバーら

この研究所は、温泉や地下水の保護・開発・利用と、地震対策に必要な調査・研究を行っている県の機関。中

でも、県西部地域の地震活動をきめ細かに観測し、観測データを基にした調査・研究に力

対応した同研究所の明田川保研究課長は、県西部を震源とするマグニチュード7程度の地震が最後に発生してから150年以上経過しているが、当時の地震記録がないために今後起きる確率を計算することが難しい状況を説明。また、三浦半島の活断層は、断層面に対して水平にずれる「横ずれ断層」であることから、「地震発生に伴う津波予測は最大でも1〜2倍と想定さ

れている」と指摘した。防災策の強化に生かされたい」として、鈴木団長らは、「こ